

種類別明細書（増加資産・全資産用）の記入例

◎ この種類別明細書には、令和5年1月1日現在の所有資産が印字してありますので、令和5年1月2日から令和6年1月1日までに取得した資産、及び売却・滅失・移動等により減少した資産がある場合、又は印字内容に変更がある場合に記入してください。
 ◎ 初めて申告される方は、令和6年1月1日現在所有している資産を記入してください。

本市の種類別明細書を使用しない場合は、本市の種類別明細書に印字してあります「所有者コード」を記入してください。

【資産の名称等】
 資産の名称・規格等を具体的に記入してください。21字以上になるものは簡略して20字以内で記入してください。

令和5年中に減少した資産は資産の名称から朱線(=)で消してください。

【資産の種類】
 1…構築物・建物附属設備 4…航空機
 2…機械及び装置 5…車両及び運搬具
 3…船舶 6…工具・器具及び備品

※ 文字は漢字・ひらがなも使用できます。
 ※ 電算処理用のデータとしますので、枠の中に丁寧に記入ください。
 ※ 打出し内容に誤りがある場合には該当箇所を訂正してください。

【取得年月(年号)】
 3…昭和
 4…平成
 5…令和

【取得価額】
 資産を取得するために要した費用を記入してください。消費税の取り扱い、法人税または所得税の会計処理において、税抜経理方式を採用している場合は消費税を含まない金額となり、税込経理方式を採用している場合は消費税を含んだ金額を記入してください。圧縮記帳は地方税法上認められませんので圧縮前の取得価額を記入してください。

【耐用年数】
 「減価償却資産の耐用年数に関する省令」別表第1から第6（別表第3及び第4を除く）に掲げる耐用年数を記入してください。

令和 6 年度		種類別明細書		愛西株式会社										1 枚目				
所有者コード		資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額			耐用年数	減価償却率	価額		課税標準の特例	課税標準額	増加理由	摘要
※	※				年号	年	月	十億	百万	千			円	十億				
01	1		コンクリート舗装	1	4	1	8	2	501	000	1	5					1-2 3-4	
02	2		太陽光発電設備	1	4	2	4	17	800	000	1	7					1-2 3-4	
03	5		フォークリフト(トヨタ 88FB25)	1	4	1	3	500	000		4						1-2 3-4	
04	6		コピー機	1	4	2	6	700	000		5						1-2 3-4	
05	6		広接セット	1	4	2	6	500	000		8						1-2 3-4	
06	6		ファクシミリ	1	4	3	1	350	000		5						1-2 3-4	
07	6		テレビ	1	5	2	7	180	000		5						1-2 3-4	
08																	1-2 3-4	
09	2		天井クレーン	1	5	5	1	1	000	000		6					1-2 3-4	
10	6		測定機器	1	5	5	4	400	000		5						1-2 3-4	
11	6		経理室クーラー	1	5	5	1	300	000		6						1-2 3-4	
12																	1-2 3-4	
13																	1-2 3-4	
14																	1-2 3-4	
15																	1-2 3-4	
16																	1-2 3-4	
17																	1-2 3-4	
18																	1-2 3-4	
19																	1-2 3-4	
20																	1-2 3-4	
小計									23,731,000									

【増加事由】
 1 新品取得
 2 中古品取得
 3 移動による受入
 4 その他

令和5年中に増加した資産を記入してください。
 ※令和5年より前に取得し、今まで申告していない資産がある場合は、併せて記入してください。

【摘要】欄に記入する事項
 資産が減少した場合、申告の内容の修正がある場合は、その理由を記入してください。
 また、課税標準の特例がある資産については、その内容を記入してください。

注意 「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受入れ、4 その他 のいずれかに○印を付けてください。